

MYターンン体験記

～わたしの新しいステージを紹介します～

札幌市出身

Uturn



株式会社アルファ水工コンサルタンツ

管理部 部長代理
辻一洋さん(49歳)

2014年、大阪から北海道へUターンした辻さん。キャリアを活かした転職の経緯と現在の職場、人事・管理職の立場からのU・ターンの考え方についてお話を伺いました。

Uターンを決意するまで

1つの会社で25年間積み重ねたキャリアを武器にUターンを決意

出身は旭川ですが、親が転勤族だったので、富良野や稚内にも住んだ経験があります。東北の大学を卒業後、工学部の土木系出身だったので、土地計画や再開発に関心があって大阪の建築設計事務所に就職しました。技術職ではなく管理職として、経理や人事、総務、営業などさまざまな業務を経験しながら、25年間同じ会社でキャリアを積みました。

親が高齢化したことをきっかけに、Uターンを検討。4人兄弟が全員北海道を離れていて、それぞれ事情を話し合った結果、次男の私がUターンしようということになりました。

転職活動と新しい職場

前職の経験を活かせる企業との出会い

企業探しはもっぱらインターネット。現在の会社からオファーを受けたのが13年の9月頃です。土木と海洋の違いはありますが、受注産業における管理会計の考え方や人事のノウハウなど、これまでの経験を活かせるという思いはありました。また、100人程度の規模の会社で、これからの成長が見込める部分にも魅力を感じましたね。東京で面接の機会を設けていただき、会長と専務、同時に札幌の本社と回線をつないで社長とも話をしました。10月末に面接、11月上旬には採用が決まったので、比較的にスムーズに決めることができたと思います。

仕事内容とやりがい

仕事を通じて組織を、北海道をよりよく!

現在はグループ会社を含めた5社の経理・人事・総務など、いわゆる裏方仕事を管理部門7人で全て受け持っています。年単位で動くプロジェクトの長期的な受注コントロールや管理会計の考え方、各地の海洋系の大学を訪問する人脈重視の採用活動など、前職で培ったものを取り入れながら業務を改善しています。今は震災復興とアベノミクス効果で、この業界は常に人材を必要としている状態です。高い技術と知識を持つ優秀なU・ターンの人材も、モチベーションの高い若手も重要。互いに組織を成長させ、そして北海道をよくしていきたいですね。

U・ターンを 考えている方へのメッセージ

多忙な中ではネットを有効活用!
面接では実績と熱意を誠実に伝えよう

前職は、終電にも乗れないほどの激務の職場で、歩いて職場に通えるマンションに住んでいたほど。そんな中で複数の転職サイトに登録して企業探しを行い、「U・ターン北海道」からオファーを受けました。また、年度末ギリギリまで引き継ぎを行っていたので、4月入社に合わせた住居探しもネットが中

心でした。通勤と子供の通学を重視して4～5件まで絞り込み、実際に見に行き検討したのは日帰りの強行軍でしたね。

面接に関しては、私自身が人事の業務を行っていることもあり、特別に身構えることもなく臨みました。「熱意」を特に重視する担当者もいますが、大切なのは見かけの「熱さ」ではなく、もっと本質的で人間的な志の高さだと思います。キャリアや実績をしっかりと踏まえた上で、自分が組織に何を提供することができて、社会にどのように貢献できるのか。特に取り繕うことをしなくても、そこを伝えることができれば、十分なアピールになると思います。

辻さんの勤務する企業情報

株式会社アルファ水工コンサルタンツ

設立：昭和59年10月
資本金：2,000万円
代表者：代表取締役社長 鳴海 日出人
従業員数：110名
所在地：札幌市西区発寒9条14丁目516-336
事業内容：港湾・漁港・海岸・海洋・河川・水産土木・環境に関する計画・設計・調査・測量・解析等の建設コンサルタント業



▶ 詳しい情報は <http://www.ahec.jp>

わたしの OFF TIME

今年は北海道生活1年目。特に私以外は、妻も二人の息子も初めての北海道暮らしになるので、まずは「適応期間」だと思っています。今まで大阪中心地のマンション住まいだったのが、ベッドタウンの一軒家へ。ライフスタイルの変化も踏まえて、今は家具や季節に合った服などを揃えながら暮らしを整えている感じですね。

こちらでは車がないと買物もままならないので車を買いましたが、子どもたちが少年野球をしていることもあり、週末は試合の連続。車で遠出などはまだできていないですね。これから冬になって野球がオフシーズンに入ったら、スキーをやりたいと言っているのも、私も久しぶりに楽しみたいと思っています。

人事担当者から

全国から優秀な人材が集まることを期待しています。

全国各地の海洋系の大学を訪問して知ったことですが、当社の名前を知っている大学は比較的多くても、積極的に採用活動を行っていることまではなかなか知られていないというのが現状です。北海道には当社以外にも面白い仕事をしている会社がたくさんありますが、同じように、なかなか知られる機会

がないのではないのでしょうか。U・ターンを志す方は、全国あるいは世界規模でキャリアを積んだ優秀な人材が多いです。そのスキルを、ぜひ北海道で発揮してもらいたいですね。そうすることでお互いを高め、個人も組織も一段と成長できるきっかけになるのではないかと思います。

